

科目	社会と情報	単位数	2	学年	3	学級	全	学科	全
----	-------	-----	---	----	---	----	---	----	---

学習の到達目標	情報科社会の進展の中で、自然との調和、社会参画、人とのつながり、個人のあり方について、これらについて理解できる力、実践する力、評価する力を形成するための力をつける。
使用教科書 副教材等	高校社会と情報(実教出版)

学期	月	学習項目	学習内容の説明
前期	4	1 情報社会 ①情報と情報社会 ②社会の変化と個人の責任 ③情報社会の問題 ④メディアとその特徴 ⑤メディアと広告、メディアの選択	* 情報社会の特徴を知る。
	5	2 コミュニケーション ①コミュニケーション、メールの利用、 ②ネットワーク、共通の取り決め ③インターネットの仕組み ④Web ページの閲覧とメールの仕組み ⑤インターネットのサービス、合意形成 ⑥クラウドコンピューティング	* 情報社会における基本的コミュニケーションの方法について学習する。
	6	3 情報安全 ①個人・組織による安全対策 ②安全のための情報技術、暗号化 ③法規による安全対策 ④知的財産権の概要と産業財産権 ⑤著作権、著作物の利用	* 情報社会における安全対策やモラルについての学習を行う。
	7	4 デジタル化 ①デジタル情報の特徴 ②静止画像の扱い ③数値や文字の表し方	* 実際にデジタル化を行う。
	9	④音声、色、画像のデジタル化 ⑤圧縮の仕組み、さまざまな計算	
後期	10	5 問題解決 ①問題を解決するには ②情報の収集 ③情報の整理と管理 ④分析のための工夫 ⑤関数と統計 ⑥表とグラフの活用 ⑦分析の実際 ⑧問題解決の実践	* 統計的手法や地図やグラフなどの図表に表現など研究に必要な技法を学習する。 * 研究テーマを一つ定め、発表のためのプレゼンテーションを工夫する。
	11		
	12		
	1	⑨論理的な文章構成 ⑩表現の工夫 ⑪プレゼンテーション ⑫Web ページによる情報発信	* 研究成果を報告書にまとめる。
評価の観点及び評価の方法	関心・意欲・態度	情報や情報社会に関心を持ち、身の回りの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報への進展に主体的に対応しようとする。	
	思考・判断・表現	情報や情報社会における身の回りの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	
	技能	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	
	知識・理解	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。	
	評価方法	前・後期とも、考査の点数、レポートや課題などの作成・発表状況、出席状況・課題の提出状況など総合的に評価を行う。年間を通じての評価は、前・後期の平均を原則とする。	
担当教諭から	情報化社会において情報技術は不可欠です。便利なものであると同時に利用を誤ると大きな問題となる恐れがあります。よりよく生きるために適切に利用・活用することが大切です。		